

大規模土木工事施工写真等電子データ作成に関する特記仕様書

1. 適用の範囲

本仕様書は、大規模土木工事の施工写真等（以下、工事写真帳）について、電子データの作成・提出に関する事項を定めるものである。

なお、工事写真帳を電子媒体にて提出する場合は、本仕様書の適用範囲外とする。

2. 規定項目

本仕様書では、以下の項目を規定する。

- ・提出方法
- ・ファイル形式
- ・ウイルス対策
- ・その他

3. 提出方法

工事写真帳については完成図書として提出する工事写真帳の他に、電子データで提出するものとする。

提出に使用する電子媒体は CD-R または DVD-R とする。

4. ファイル形式

ファイル形式は PDF とし、容量が 200MB を超える場合は複数のファイルに分割すること。

複数のファイルを作成する場合は、別添（大規模土木工事施工写真等電子データの整理例）を参考にファイル名やフォルダ構成等を判りやすいものとする。

また、工事写真帳作成の際、用紙は A4 とし、用紙の向きが横の場合はサービスサイズ程度の大きさの写真 4 枚、用紙の向きが縦の場合は 3 枚までとする。

5. ウイルス対策

提出前にウイルスチェックを実施し、以下の情報について電子媒体のラベル面に記入すること。

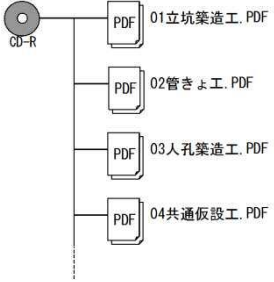
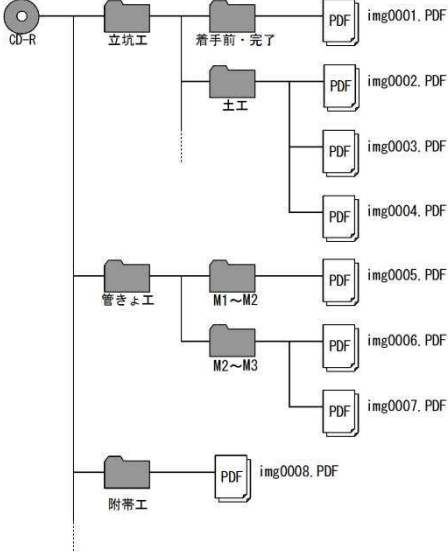

- ・ウイルス対策ソフト名とバージョン情報
- ・ウイルス定義年月日またはウイルス定義ファイル名
- ・ウイルスチェック実施日

6. その他

上記以外については、監督員との協議によること。

別添（工事写真帳電子データの整理例）

以下の例を参考にデータ内容がわかるように、ファイル命名、フォルダ整理等の措置をとること。

<p>1. ファイル数が1つの場合（小規模工事）</p> <p>ファイル名等のルールは特になし。 （当局で工事件名別に管理用フォルダを作成するため）</p>	
<p>2. ファイル数が少ない場合</p> <p>紙媒体で作成する工事写真帳の分類に倣ったファイル名等、データの内容に応じてわかりやすいファイル名をつける。</p>	
<p>3. ファイル数が多い場合（大規模工事）</p> <p>（例①） 紙媒体で作成する工事写真帳の分類に倣ったフォルダ構成等でわかりやすくデータを格納する。 個々のファイル名についてルールは特になし。</p> <p>（例②） データの内容に応じた詳細なファイル名をつける。</p>	<p>例①</p>  <p>例②</p> 
<p>4. 不適切な例</p> <p>複数のファイルがあり、フォルダによる整理を行わない場合は、上記2. の様にデータ内容の判るファイル名をつける。</p>	